

年末出荷の野菜を守ろう！！

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

11月12日に南部地区巡回を実施致しました。ハウレンソウにアブラムシ類・ハスモンヨトウ、ブロッコリーにハスモンヨトウ、青ネギにはアザミウマ類が確認されました。ハスモンヨトウのトラップの飛込も増加しております。朝晩冷え込んできましたが、引き続き害虫には十分ご注意ください。

ハクサイ アブラムシ類 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トレボン乳剤	3A	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	2000~3000倍	収穫3日前まで	2回以内
ウララDF	29	2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内

ダイコン アブラムシ類 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トレボン乳剤	3A	1000~2000倍	収穫21日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内
ウララDF	29	2000倍	収穫前日まで	2回以内

ハウレンソウ ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

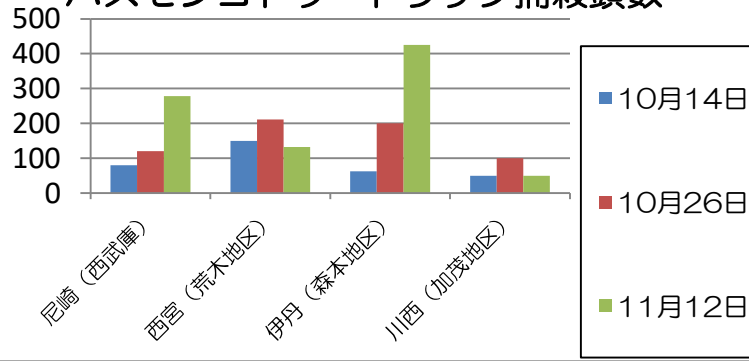
キクナ ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内



写真 ブロッコリーを食害するハスモンヨトウの幼虫

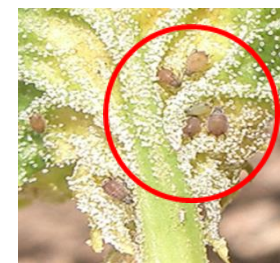
ハスモンヨトウ トラップ捕殺頭数



【注目害虫：アブラムシ類】

《症状》
成虫や幼虫が作物の新芽や展開中の葉裏に寄生し、吸汁加害する。ウイルスに感染した作物を吸汁すると、ウイルス病を媒介する。

《対策》
多発すると防除が難しいため、早めの防除を心がけるようにしましょう。
年末のハクサイやダイコン等の出荷時は十分に検品してください。



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

まだまだ害虫活動中！！

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

10月26日に南部地区巡回を実施致しました。ハウレンソウにアブラムシ類・ハスモンヨトウ、キクナにヨトウムシ類の食害、ハクサイにはカタツムリ類の食害が確認されました。ハスモンヨトウのトラップの飛込も増加傾向です。毎年あぶらな科野菜にアブラムシ類の被害が大きくなる時期です。引き続きご注意ください。

ハクサイ アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トレボン乳剤	3A	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	2000~3000倍	収穫3日前まで	2回以内
ウララDF	29	2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内

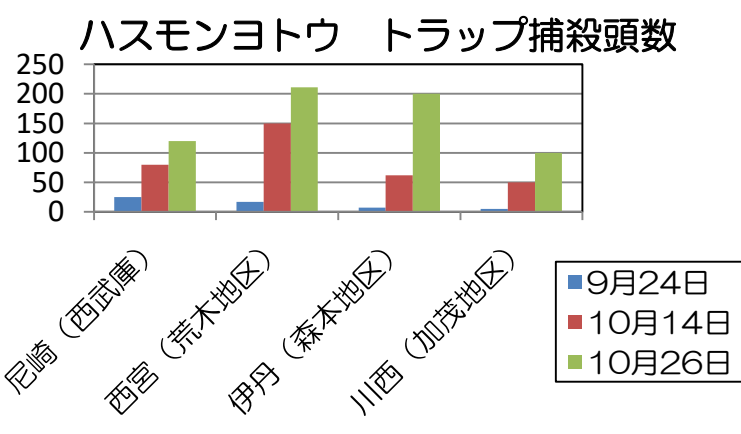
非結球あぶらな科葉菜類 アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トランスフォームフロアブル	4C	2000倍	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫3日前まで	2回以内
ウララDF	29	4000倍	収穫前日まで	2回以内

ハウレンソウ ほうれん草 ハスモンヨトウ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

キクナ ハスモンヨトウ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内



写真①・②ハウレンソウ
ハスモンヨトウによる食害



【注目害虫：アブラムシ類】
 《症状》成虫や幼虫が、吸汁加害する。作物の新芽や展開中の葉裏に多く寄生する。ウイルスに感染した作物を吸汁すると、体内でウイルスを増殖させる。その後、健全な作物にウイルス病を媒介する。
 〈対策〉多発すると防除が難しいため、早めの防除を心がけるようにしましょう。特にハクサイやダイコンの出荷時は十分に検品してください。



写真③ハクサイに群がるアブラムシ類

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。
 本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

10月13日に南部地区巡回を実施致しました。全体的にチョウ目（ヨトウムシ類、コナガ、アオムシ等）の被害が多くみられました。トラップの飛込数も急激に増加していますのでご注意ください。

ほうれんそう ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	I RAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
カスケード乳剤	15	4000倍	収穫3日前まで	3回以内
アフーム乳剤	6	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

ネギ シロイチモジヨトウ 適用農薬情報

農薬名	I RAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

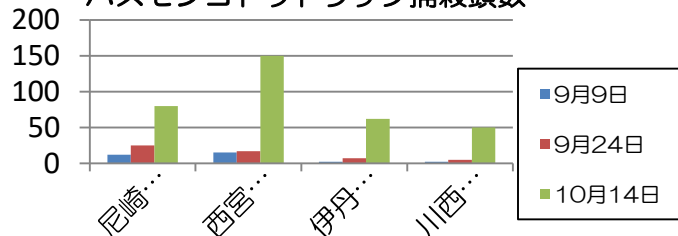
こまつな ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	I RAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

非結球あぶらな科葉菜類のコナガ、アオムシ、クスジノミハムシ 適用農薬情報

農薬名	I RAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

ハスモンヨトウトラップ捕殺頭数



【注目害虫：ハスモンヨトウ】

葉裏に生息し、葉を食害します。若齢幼虫の頃は表皮を残して白色かすり状になります。多発時には葉脈だけ残しレース状になります。

《防除のポイント》

卵からかえった若齢幼虫（1~2齢）は集団となって葉を食害しますが、その後成長するに従い分散していくので、若齢のうちに葉裏に薬剤がよくかかるように防除をお願いします。



ハスモンヨトウの幼虫

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

ヨトウムシ類の食害に注意！

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

9月24日に南部地区巡回を実施致しました。コマツナにアブラムシ類、ホウレンソウにシロオビノメイガ、キクナにヨトウムシ類の卵塊を確認しました。トラップの飛込は比較的少ないですが、ご注意下さい。

コマツナ・ほうれん草 ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

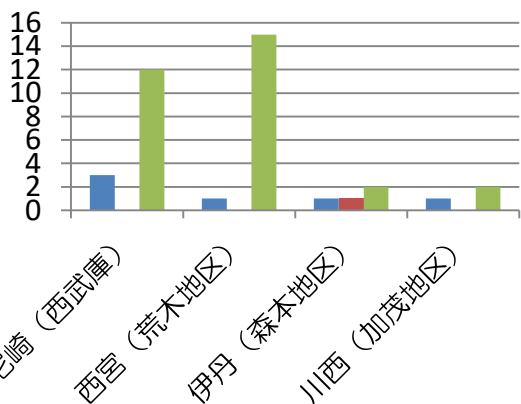
キクナ ハスモンヨトウ 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
コテツフロアブル（劇）	13	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

台風対策は事前準備が重要です！！

- 排水溝、施設の再点検をし、特に排水溝周辺の草刈及び刈草等の除去を行い、スムーズに排水ができるようにしましょう。
- 施設野菜では、ビニールハウスの穴の補修、マイカー線の増し締め、ラセン杭や鉄筋などの緩みを再点検してください。
- 換気扇のある施設では、ハウス全体の浮き上がりを防止するために、強風の間、換気扇を回します。
- 事前対策は早めに行ってください。人命第一の観点から、強風や大雨の時はハウスや水路に近づかないでください。

ヨトウガトラップ捕殺頭数



■ 8月5日
■ 8月20日
■ 9月9日

【注目害虫：ハスモンヨトウ】

《症状》

葉裏に生息し、葉を食害します。被害部は、若齢幼虫の頃は表皮を残して白色かすり状になります。多発時には葉脈だけ残しレース状になります。

《虫の特徴》

卵は数百個が一塊となって葉に産みつけられ、幼虫は6齢を経過し成長すると体長が40mmにもなります。被害は6月頃から見られ、8月下旬から10月まで被害が増加します。

《防除のポイント》

卵からかえった若齢幼虫（1～2齢）は集団となって葉を食害しますが、その後成長するに従い分散していくので、若齢のうちに葉裏に薬剤がよくかかるように防除をお願いします。



卵塊（これで数百個の卵）

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

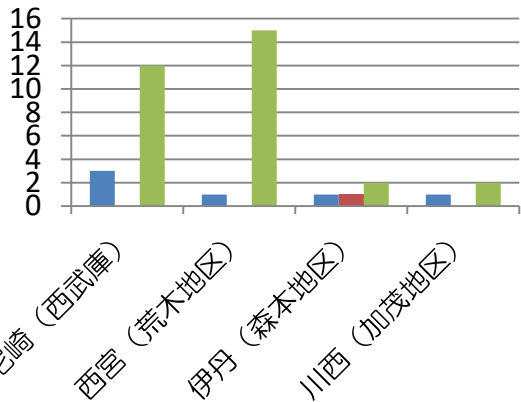
秋野菜の病害虫に引き続き注意

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

9月9日に南部地区巡回を実施致しました。コマツナにハイマダラノメイガおよび炭疽病、ダイコン葉にキズミノミハムシの食害、ナスではコナジラミ類が確認されました。台風の季節になりました。排水対策をしっかりと行い、降雨前後は薬剤防除を実施するなどの対策を行うようお願いいたします。

こまつな ハスモンヨトウ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ディアナSC	5	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
キャベツ・ハクサイ ハイマダラノメイガ 適用農薬情報				
農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内
プレバソフロアブル5	28	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ヨーバルフロアブル	28	2500~5000倍	収穫前日まで	3回以内
プロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
非結球あぶらな科葉菜類 キズミノミハムシ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
プロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

ヨトウガトラップ捕殺頭数



先々週よりも増加傾向！！



- 8月5日
- 8月20日
- 9月9日

【注目害虫：ハスモンヨトウ】

《症状》

葉裏に生息し、葉を食害します。被害部は、若齢幼虫の頃は表皮を残して白色かすり状になります。多発時には葉脈だけ残しレース状になります。

《虫の特徴》

卵は数百個が一塊となって葉に産みつけられ、幼虫は6齢を経過し成長すると体長が40mmにもなります。被害は6月頃から見られ、8月下旬から10月まで被害が増加します。

《防除のポイント》

卵からかえった若齢幼虫(1~2齢)は集団となって葉を食害しますが、その後成長するに従い分散していくので、若齢のうちに葉裏に薬剤がよくかかるように防除をお願いします。



卵塊 (これで数百個の卵)

ハスモンヨトウの幼虫

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

秋野菜の害虫発生に注意

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

8月20日に南部地区巡回を実施致しました。コマツナではコナガ、キズジノミハムシの食害、また、アブラナ科葉菜類にて、ハイマダラノメイガが確認されました。長雨や曇天による日照不足の影響で、野菜において根腐れによる生育不良や、病害による茎葉の腐敗や枯れ上がりも多く見られます。排水対策をしっかりと行い、降雨前後は薬剤防除を実施するなどの対策を行うようにして下さい。

キャベツ・ハクサイ ハイマダラノメイガ 適用農薬情報				
農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内
プレバソフロアブル5	28	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ヨーバルフロアブル	28	2500~5000倍	収穫前日まで	3回以内
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

ダイコン ハイマダラノメイガ 適用農薬情報				
農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内
プレバソフロアブル5	28	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	2回以内

非結球あぶらな科葉菜類 キズジノミハムシ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

【秋冬作用のセル苗定植にあたって】



秋冬野菜の苗定植の時期になりました。

しかし、今年は8月中旬からの天候不良により畑の準備も難しい状況であります。活着不良や根傷みにより初期生育に影響が出る恐れも考えられます。土壌水分の状態が少しでも良い時期に畝立てまで済ませましょう。

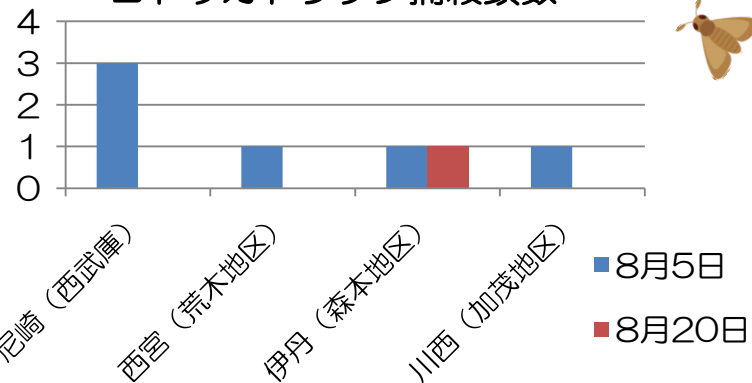
定植後、雨が多く根傷みの恐れがある場合は排水対策をしっかりと行い、苗の活着に有効な資材の活用をお願い致します。

【野菜・果物の出荷にあたって】



天候不良により、品質の良くない出荷物が散見されます。荷造り・出荷時に十分検品をお願い致します。

ヨトウガトラップ捕殺頭数



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

8月5日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、ヨトウガのトラップを設置しました。トラップへの誘殺はありませんでしたが、今後も調査をしていきます。コマツナではコナガ、キズジノミハムシの食害、なすではタバコノミハムシ、ハダニ類、アブラムシ類を確認しました。猛暑日が続いていますが、熱中症等には十分注意し、早期防除をお願いします。

なす ハダニ類 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
サフオイル乳剤	-	300~500倍	収穫前日まで	-
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍		4回以内
グレーシア乳剤	30			2回以内
モベントフロアブル	23			3回以内

非結球あぶらな科葉菜類 キズジノミハムシ 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
プロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

非結球あぶらな科葉菜類 アブラムシ類 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トランスフォームフロアブル	4C	2000倍	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫3日前まで	2回以内
ウララDF	29	4000倍	収穫前日まで	2回以内

今後の注目害虫「ハイマダラノメイガ」

ハイマダラノメイガは、一般に高温少雨の条件で多く発生し、キャベツ、ハクサイ、ダイコンなどの生長点を食害します。発芽直後の被害は欠株となり、本葉3~4枚頃の被害では生長が止まり奇形株となります。定植時に登録のある粒剤を使用することをすすめます。



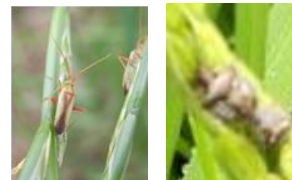
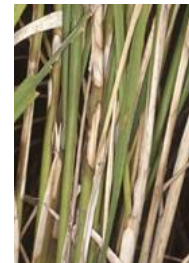
ハイマダラノメイガ幼虫による被害



ハイマダラノメイガ幼虫

【紋枯病 右写真】

阪神南部地域で確認されました。今後気温が高くなり、水稻の茎数が多くなると、株元が高温多湿となって、発病が多く見られます。多発すると収量が減る恐れもあります。穂ばらみ期における発病株率が20%を超える場合は薬剤防除をお願いします。



【カメムシ類 左写真】

阪神南部地域で確認されました。出穂の時期になると、籾を吸汁して斑点米の原因になりますので、薬剤防除をお願いします。

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

高温乾燥時期の害虫に注意

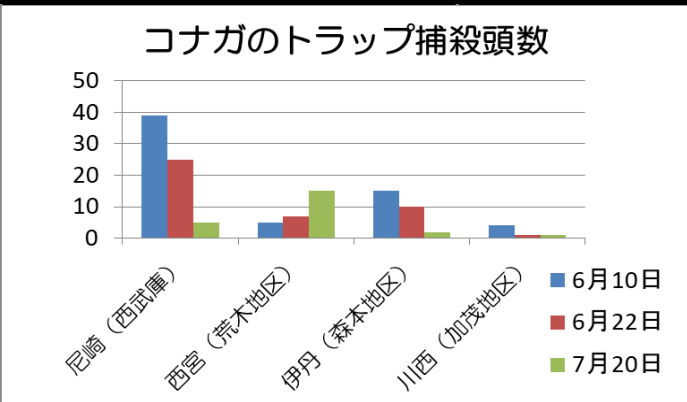
発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

7月20日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、こまつなにキスジノミハムシ・コナガの食害、なすではハダニ類、トマトでは葉かび病の発生が見られました。コナガのトラップは、前回に引き続き、捕殺頭数が減少傾向です。梅雨が明け気温が高くなり、乾燥するとハダニ類など害虫の発生が増えます。圃場の状態をよく見ながら、殺虫剤による防除をお願いします。

なす ハダニ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
サフオイル乳剤	-	300~500倍	収穫前日まで	-
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍		4回以内
グレースシア乳剤	30			2回以内
モベントフロアブル	23			3回以内

なす テントウムシダマシ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アディオン乳剤	3A	2000倍	収穫前日まで	3回以内
コテツフロアブル(劇)	13	2000倍	収穫前日まで	4回以内
モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4A	4000倍	収穫前日まで	3回以内

非結球あぶらな科葉菜類 キスジノミハムシ 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ブロフレアSC	30	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内



◎注目病害虫◎

「ハダニ類」 右上写真 なすの葉吸汁加害
 成虫・幼虫が吸汁加害し、被害が生じる。乾燥時に発生。
 葉をよく観察し、早期薬剤散布をおすすめします。



「テントウムシダマシ類」 右下写真 なすの葉加害
 成虫・幼虫が加害して被害が生じる。
 こちらも葉をよく観察し、早期薬剤散布をおすすめします。



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

7月8日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、こまつなに鱗翅目の食害、なすではハダニ類の発生が見られました。コナガのトラップは、前回に引き続き、捕殺頭数が減少傾向です。露地のこまつなは、気温が高いこの時期、降雨後に炭疽病が発生します。病害虫の発生に十分注意し、圃場の状態をよく見ながら、液肥の活用や殺菌剤・殺虫剤による防除をお願いします。

なす ハダニ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
コテツフロアブル（劇）	13	2000倍	収穫前日まで	4回以内
グレーシア乳剤	30			2回以内
モベントフロアブル	23			3回以内 ※灌中は1回以内
非結球あぶらな科葉菜類 炭疽病 適用農薬情報				
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
スクレアフロアブル	11	2000倍	収穫前日	3回以内

【太陽熱利用土壌消毒の目的・方法】

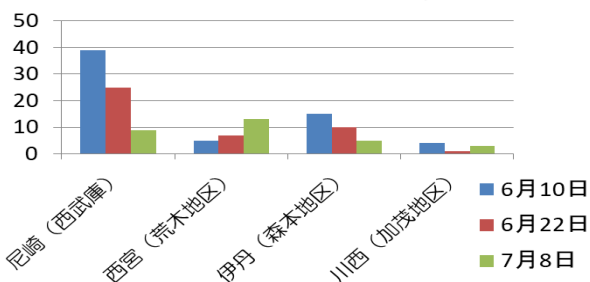
目的 気温の高い夏場に、ビニール被覆などで土壌温度を上昇させ、熱による土壌消毒を行う。土壌中の病原菌、害虫、雑草種子を減らす効果が期待できる。

方法 ハウス、露地ともに処理期間は7月下旬～8月中旬に20日間以上行う。

①ハウスの場合 有機物を土壌に混和し、小畝を立てて地表面を透明なビニールなどで被覆し、地表面が濡れるよう湛水して、ハウスを密閉する。

②露地の場合 有機物を土壌に混和し、栽培用の畝を立て、地表面を透明なビニールなどで全面被覆する。

コナガのトラップ捕殺頭数



注目病害虫！！「ハダニ類」

【生態と被害】ほとんどの野菜・果樹に寄生します。

高温と乾燥を好み葉裏に寄生して吸汁します。

初めに白色または褐色の斑点ができ、被害が進むと葉が黄化し落葉します。（右写真：なすの被害葉）

【防除ポイント】ハダニ類は雑草にも寄生するため、

圃場周りに雑草を生やさないようにしてください。また、ハダニ類の被害があった古葉や下葉を除去してから薬剤散布を行ってください。



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

降雨後の病害虫に注意！！

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

6月22日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、こまつなにアブラムシ類、きゅうりでは前回に引き続きアブラムシ類とアザミウマ類、なすではうどんこ病、トマトではアザミウマ類の発生が見られました。コナガのトラップは、捕殺頭数が減少傾向です。気温が高く、降雨などにより晴天日が続かない不安定な季節です。降雨後、野菜や圃場の状態をよく見ながら、液肥の活用や殺菌剤・殺虫剤による防除をお願いします。



きゅうりの葉に
群がるアブラムシ類

きゅうり アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ウララDF	29	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
モベントフロアブル	23	2000倍	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内

非結球あぶらな科葉菜類 アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
トランスフォームフロアブル	4C	2000倍	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫3日前まで	2回以内
ウララDF	29	4000倍	収穫前日まで	2回以内



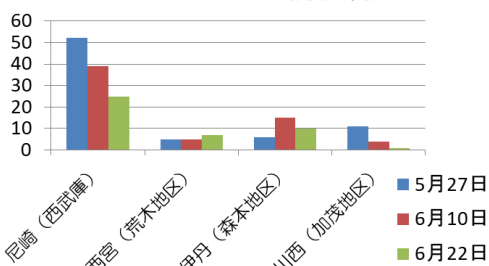
こまつなの葉に
群がるアブラムシ類



なすの葉
うどんこ病

なす うどんこ病 適用農薬情報				
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫前日まで	4回以内
パレード20フロアブル	7	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
プロパティフロアブル	50	3000倍	収穫前日まで	3回以内

コナガのトラップ捕殺頭数



★追肥ポイント なす編★

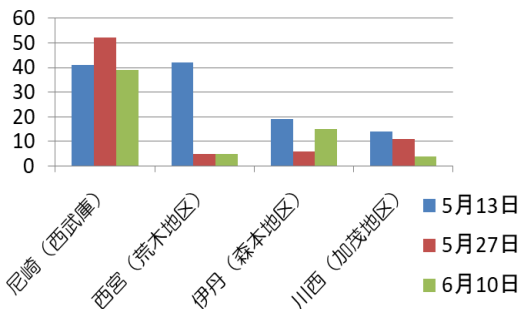
- 1 番果実が肥大する頃から、2週間おきに畝肩へ追肥し、『なり疲れ』を回避する。枝が弱ってきたら病気が発生しやすいので注意！！
- 生育にあわせて追肥位置を変える。2回目以降は株間に施用する。

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。
本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

6月10日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、アブラナ科野菜ではコナガによる食害と白さび病、なすではうどんこ病、きゅうりではアブラムシの発生が見られました。梅雨入りしましたが、気温も高く天候が良い日も続きました。遮光資材の被覆時期に注意し、引き続き適期防除をお願いします。

コナガのトラップ捕殺頭数



こまつな 白さび病 適用農薬情報

農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
ランマンフロアブル	21	2000倍	収穫3日前まで	3回以内

なす うどんこ病 適用農薬情報

農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫前日まで	4回以内
パレード20フロアブル	7	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
プロパティフロアブル	50	3000倍	収穫前日まで	3回以内

きゅうり アブラムシ類 適用農薬情報

農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ウララDF	29	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
モベントフロアブル	23	2000倍	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内

きゅうりの葉に群がるアブラムシ類



★高温対策のための遮光ネットの被覆時期★

- 農業用遮光ネットは高温対策の1つの手段で使われ、一般的にハウスで使用されます。
- 農業用遮光ネットの選び方は栽培している作物及び使用時期によって異なります。

理由としては、強い光を好む作物や弱い日差しを好む作物など、作物の種類によって違いがあることや、季節、発芽促進、育苗、生育時期等によって必要な日射量が異なるためです。

【トマト】 光を多く必要とするトマトの高温対策の場合、ネットの取り外しが可能な場合は遮光率50%程度の遮光ネットを利用。

※取り外しができない場合は遮光率30%未満の遮光ネット利用が目安。

遮光資材の被覆タイミング：梅雨明け、ハウス内温度が30度を超える時期から

【イチゴ】 イチゴの育苗時、高温対策をする場合は、遮光率40~50%が目安。

遮光資材の被覆タイミング：ハウス内温度が25度を超える時期から

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

梅雨時期の病気に注意！！

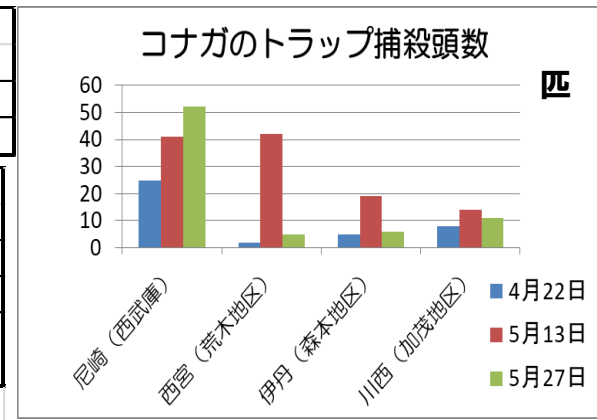
発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

5月27日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、アブラナ科野菜のナメクジ被害、なすのうどんこ病・灰色かび病が見られました。本格的な梅雨に入り、曇天が続いています。遮光資材の被覆時期や、適期防除に注意しながら、対策をお願いします。

こまつな 白さび病 適用農薬情報				
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
ランマンフロアブル	21	2000倍	収穫3日前まで	3回以内

トマト 灰色かび病 適用農薬情報				
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ダコニール1000	M05	1000倍	収穫前日まで	4回以内
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫前日まで	4回以内
パレード20フロアブル	7	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内

※ミニトマトは登録内容が異なりますのでご注意ください。



なす うどんこ病 適用農薬情報				
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫前日まで	4回以内
パレード20フロアブル	7	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
プロパティフロアブル	50	3000倍	収穫前日まで	3回以内

灰色かび病との同時防除が可能です

《うどんこ病の症状》葉の表面にうどん粉のような白いカビが発生する。特に施設栽培に発生が多い。

《うどんこ病の対策》病勢が進行すると防除が困難となるので、多発する前に早期防除に努めましょう。

日照不足の条件下で多発します。こまめに摘葉、摘芯を行い、過繁茂にならないよう心がけましょう。また、樹勢が弱まると多発します。肥料切れにならないよう管理しましょう。

梅雨時期の野菜栽培管理の注意点！！

- 果菜類で過繁茂になると、光不足で落花や着果不良が起こりやすくなります。早めに古葉や側枝の除去を行い、風通しと日当たりを確保します。
- 日照不足で果実を多くつけたままにしておくと、果実の肥大が悪くなり、品質低下に繋がります。着果量に応じて摘果等を行い、株への負担を軽減するとともに、早めの収穫を心がけて下さい。
- 湿度が高くなると、病気の発生を助長します。風通しを良くし、薬剤による予防防除をお願いします。
- 長時間水がたまると、根傷み、生育不良や病気が発生します。ほ場条件が良いときに畝間や排水溝をさらえ、排水対策をお願いします。

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

キスジノミハムシに注意！！

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

5月13日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査にて、小松菜にキスジノミハムシ（成虫）、アブラムシ類、ナスではナメクジ類による食害が確認されましたので、早期防除をお願いします。

また、病気の発生も注意する時期になります。天候を見ながら、早期予防にも努めてください。

非結球あぶらな科葉菜類		キスジノミハムシ	適用農薬情報	
農薬名	IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	6	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
プロフレアSC	30	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内

キスジノミハムシの成虫(あぶらな科野菜) 葉に穴をあけ食害↓



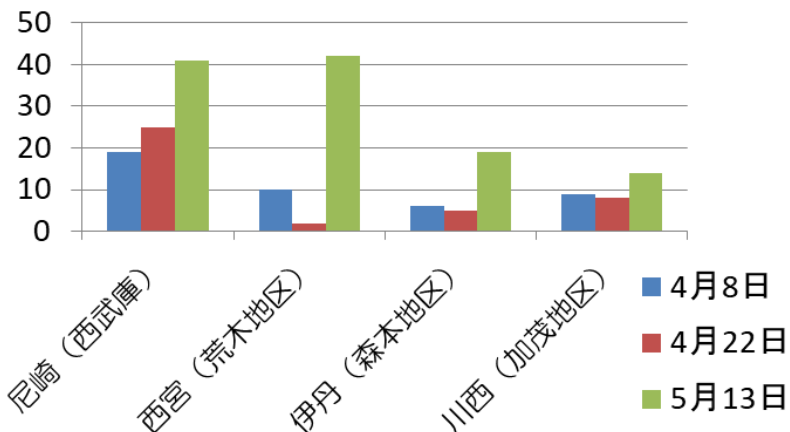
トマト 灰色かび病		適用農薬情報		
農薬名	FRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ダコニール1000	M05	1000倍	収穫前日まで	4回以内
アミスター20フロアブル	11	2000倍	収穫前日まで	4回以内
パレード20フロアブル	7	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内

※ミニトマトは登録内容が異なりますのでご注意ください。

梅雨時の野菜管理の注意点

- 近畿地方は平年に比べて21日早く梅雨入りしました。
- 梅雨期は、雨の日が多く、日照時間が少なくなることが予想されます。
- 果菜類で過繁茂になると、光不足で落花や着果不良が起こりやすくなります。混み合う枝や日陰になる枝を間引くなど、整枝を行うようにして下さい。
- 日照不足で果実を多くつけたままにしておくと、果実の肥大が悪くなり、品質低下を招きます。収穫果は確実に取るようにして下さい。
- 湿度が高まると、病気の発生を助長します。整枝などで風通しを良くし、薬剤による予防防除を心がけて下さい。
- ゲリラ豪雨などで長時間水がたまっていると根が傷んで生育不良や病害が発生します。速やかに排水できるように事前に畝間や排水溝をさらえておきましょう。

匹 コナガのトラップ捕殺頭数



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

アブラムシ類に注意!

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

4月22日に南部地区巡回を実施致しました。圃場調査で、たまねぎのアザミウマ類、キャベツのコナガ（幼虫）、ホウレンソウのアブラムシ類、ハウスなすのアブラムシ類が確認されましたので、防除をお願いします。

なす アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ウララDF	29	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
トランスフォームフロアブル	4C	2000倍	収穫前日まで	2回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫前日まで	2回以内



ホウレンソウ アブラムシ類 適用農薬情報				
農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ウララDF	29	4000倍	収穫前日まで	2回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫3日前まで	2回以内

【これから注意すべき害虫・病気】



①コナガの幼虫
葉裏から食害



こまつなの
白さび病
葉裏に白い斑点



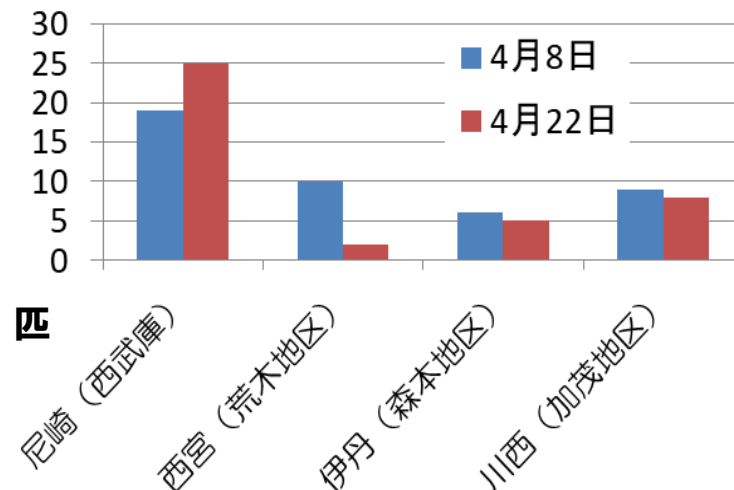
②キスジノミハムシの
成虫(あぶらな科野菜)
葉に穴をあけ食害



トマトの葉かび病
はじめは葉裏に
灰紫色のカビ

病害虫の発生は品質低下に繋がります。早期防除・予防に努めて下さい。

コナガのトラップ捕殺頭数



※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。

発行：阪神地区営農振興協議会 農業技術分科会 地区：川西・尼崎・伊丹・西宮

4月8日に令和3年度、第1回目の南部地区巡回を実施致しました。圃場にて、玉ねぎのアザミウマ類・軟腐病、ホウレンソウのアブラムシ類、コナダ二類が確認されましたので、早期防除をお願いします。

また、ハウストマトでアザミウマ類の発生に注意し、防除をお願いします。

コナガのトラップも設置しました。捕獲数は1週間で各地区20匹以下と少ないですが、成虫が飛んでいることで、今後増える可能性がありますので、ご注意ください。

ホウレンソウ アブラムシ類 適用農薬情報

農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ウララDF	29	4000倍	収穫前日まで	2回以内
スタークル顆粒水溶剤	4A	3000倍	収穫3日前まで	2回以内

トマト アザミウマ類 適用農薬情報

農薬名	FRAC・IRAC	希釈倍率	使用時期	使用回数
ディアナSC	5	2500～ 5000倍	収穫前日まで	2回以内
モスピラン顆粒水溶剤（劇）	4A	2000倍	収穫前日まで	3回以内



ホウレンソウのアブラムシの被害写真（吸汁により新葉が萎縮する）

※必ず農薬のラベルを確認してから使用基準を守って使用するようお願いいたします。

セル苗・ポット苗情報

2月下旬から3月にかけて定植している、春～初夏どり野菜について
気温が例年より高く推移したため、病害虫の発生が早く見られます。

4月～5月定植する果菜類の苗について

生育初期の防除が重要になりますので、薬剤防除の徹底をお願いします。

特に害虫ではコナガやアザミウマ類、アブラムシ類にご注意下さい。

病気ではべと病や菌核病、うどんこ病にご注意下さい。

定植時に液肥を使用することで根の活着を促し、植物体に抵抗力をつける方法もお勧めです。

**直売所情報**

ブロッコリーの花咲や、ホウレンソウ等適期収穫遅れが目立ちます。

出荷の際は十分な検品をし、適期収穫をお願い致します。

本件に関するお問い合わせは、お近くの営農支援センター又は阪神営農総合センター、阪神農業改良普及センターまで。